

貝ヶ森市民センター 魅知国絆寄席



を開催しました

この寄席は、「魅知国仙台寄席」を開催している落語芸術協会と共催し、地域の方々に本格落語や漫才を気軽に楽しんでいただこうと、各市民センターを会場として開催している当財団の自主事業です。

今年、最後の寄席を貝ヶ森市民センターで開催しました。

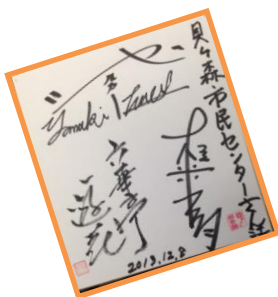


シャベルカーは、軽快な若者の漫才コンビ。オリンピックの話題に貝ヶ森市民センターが登場しました。地元出身ならではの話のネタに会場からは思わず笑いが巻き起こっていました。

六華亭遊花師匠の演目は、「ふるまい酒」。軽妙な東北弁は、健在です。この日を楽しみに来たという遊花師匠ファンも多く、その語り口に観客はどんどん引き込まれていきました。



トリは桂米多朗師匠の、「ちりとてちん」ちりとてちんを食べた時の演技は最高でした。さすが真打！来場者からは「やっぱり、生はいねえ。」「おもしろかった。初めての落語でした。」などの感想が寄せられました。



抽選で色紙が
当たりました！！

生の落語を地域で楽しめるとあって、この日は200人近い方々にご来場いただきました。みんなであって、楽しんだ90分でした。

主催：公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団
公益社団法人落語芸術協会 LLP コムワークプロジェクト
後援：公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会
助成：文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）
協力：貝ヶ森西町内会